

科目名称	経営と会計					ビジネス・キャリア グローバル・コミュニケーション	(必)	オフィス情報 医療事務・医療秘書	(必)					
英文科目名称	Management and Accounting													
科目コード	521111	授業形態	講義	単位数	2									
教員氏名	佐藤 弘太郎		年次配当	1年次	前期	ホテル・観光	(○)	大学編入	(○)					
実務経験教員担当	(有)・無		アクティブラーニング		(有)・無									
授業概要及び授業方法	<p>企業取引の複雑化、会計基準の国際化に伴い、簿記処理の高度化が進んでいます。近年は、会計ソフトの発展で、簿記処理を逐一覚える必要がないとの論調もありますが、逆にこのような時代だからこそ、1つ1つの簿記処理の理論的背景を把握し、その取引が持つ意味を理解することが必要になります。</p> <p>本講義では、日商簿記2級レベルの商業簿記（株式会社会計）を中心に、企業経営と会計の関係について学習します。また、本講義は近年、大改定により大きく進化した日商簿記検定2級の試験対策にもなり、日商簿記検定2級合格を目指します。</p> <p>講義で学習した範囲についての過去問・練習問題・Active learning①②については積極的に学習し状況を教員に報告する。また、その内容や質問、感想については、なるべく全員に開示（発表）し解説を行う。Active learning①②については参考資料を配布する。</p>													
関連する科目	工業簿記論、簿記原理					卒業認定(学習成果)との関連	(①, ③, ⑤, ⑥)							
授業計画	<p>1. 株式会社（株式の発行、剰余金の配当と処分）</p> <p>2. 合併と無形固定資産（合併時の処理、無形固定資産の取得、償却）</p> <p>3. 法人税と消費税（消費税の処理、法人税の中間申告、納付、確定、）</p> <p>4. 課税所得の算定方法（損金、益金、算入、不算入項目の調整）</p> <p>5. 商品売買（売上原価対立法、割戻し、割引き、クレジット販売、決算時の処理等）</p> <p>6. 手形と電子記録債権（債務）（電子記録債権債務の発生、消滅、譲渡）</p> <p>7. 銀行勘定調整表（両者区分調整法、企業残高基準法、銀行残高基準法）</p> <p>8. 固定資産（固定資産の割賦購入、減価償却、定額法、定率法、生産高比例法、200%定率法、償却保証額と改定償却率）</p> <p>9. 固定資産の売却、買い換え、除却、廃棄、改良、修繕、火災による減失、保険金額の確定等）</p> <p>10. 圧縮記帳（国庫補助金、圧縮記帳、決算時の処理）</p> <p>11. リース取引（ファイナンス・リース、オペレーティング・リース取引）</p> <p>12. 研究開発費とソフトウェア</p> <p>13. 有価証券（有価証券の分類、表示、決算時の処理）</p> <p>14. 有価証券（償却原価法、全部純資産直入法等）</p> <p>15. 引当金（貸倒引当金、修繕引当金、退職給付引当金、賞与引当金、売上割戻引当金、返品調整引当金）</p> <p>Active learning</p> <p>①財務諸表と関係諸法令</p> <p>②新会計基準（2021年4月1日～）収益に関する包括的会計基準（履行基準）について その他</p>													
授業時間外の学習	<ul style="list-style-type: none"> 講義内容に関する予習・復習（課題を提示することもある）をすること。（特に復習が重要） 授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。（1時間程度） 授業で配付するプリントはしっかりとファイルし、くり返して学習を行う。 													
授業の到達目標	日商簿記2級レベルの商業簿記の取引について、理論的にも実務的にも理解できる。 日商簿記検定2級に合格する。													
課題に対するフィードバック	試験終了後解説を行う。					筆記試験（70%）、 評価方法・基準 参加度と小テスト（30%）								
テキスト	スッキリわかる日商簿記2級 商業簿記 第14版 (TAC出版) (必要に応じて過去問などの資料を配布する)													
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介する。													
備考	一般企業において会計ソフトによる会計処理、債権債務の管理会計、原価管理業務の実務経験を有する教員が授業を担当。													